

多様な分野で輝く女性の交流会【盛岡市】

総事業費	32 千円
交付金額	16 千円

地域の実情と課題

- 実情（女性の就業・雇用）**
 - ・第3次産業従事者が8割超（女性は「医療・介護、卸売・小売業、宿泊飲食サービス」の順に多く従事）
 - ・女性の労働力率は約50%で、全国平均50%とほぼ同じ傾向
 - ・女性の管理的職業従事者割合は17.4%で、全国平均約15%より高い傾向
- 課題（企業アンケートより）**
 - ・女性活躍推進における自社の課題の上位2項目「多様な人材の能力を生かす管理職マネジメント支援」「女性の意識改革・キャリア支援」

目的・目標

女性をはじめ多様な人材が活躍できる職場づくりをあらゆる面から支援するため、市内企業の要望が高い「女性の人材育成（女性社員対象）」「多様な人材の能力を生かすマネジメント支援（経営者管理職対象）」を行うほか、男性や若年女性など働く女性だけに限らない事業アプローチを図る。

<数値目標>

- 女性活躍推進事業参加者の意識や取組意欲の変容度
目標値 90% → 実績値 97%（達成）

事業の特徴

- 事業内容について**
国立大学法人岩手大学工学部と共同で、市内の女子中高生とその親を対象に女性が少ない分野である理工学の魅力発信及び性別によらず広い視野で進路や職業選択を進めるための啓発イベントを開催した。中高生には実験や学内の見学から、理工学分野の楽しさに触れる機会を提供し、保護者には理工学分野で働く女性ロールモデルを紹介するトークイベントを実施した。
- 関係団体などとの連携方法について**
国立大学法人岩手大学工学部と共同で企画、立案し、プログラムの運営を理工学部教員、学生等の協力で行った。

連携団体

- 経済団体・関係団体・大学等との連携**
岩手大学
- 連携地方公共団体との連携**
盛岡市教育委員会
- 民間企業との連携**
ロールモデルを派遣いただいた企業

事業の効果

参加者アンケートから「（子）自分の興味のあるコース以外のお話を聞いて選択肢が増えた」「（親）子どもがやりたい事、興味のある事を大事にしながら、進路選択を応援したいと思った」など、事業を通して、プラスの効果があった。

また、学生、保護者ともに、全ての参加者に前向きな意識変化があったと回答したため、事業目標は達成されたと考えられる。

なお参加者は14名であった。

今後の課題

- 継続実施に向けた他団体との連携**
他団体との共同開催による経費削減を行うとともに、継続開催に向けた調整が必要。
- 参加者数の維持・向上に向けた方策**
対象及び内容の見直しを行うとともに、開催時期を学校の長期休暇の時期に合わせるなど、事業に参加しやすくなるよう工夫する。

事業の概要

多様な分野で輝く女性の交流会 ～女子中高生向け 理系の魅力発信イベント～

日時：2023年12月16日（土）10：00～11：30

会場：国立大学法人岩手大学理工学部 復興記念銀河ホール2階 ものづくり協創工房

対象：女子中高生及びその保護者（14名）

内容：女性が少ない職業分野の一つである理工学について、その分野の魅力を発信し、性別によらず広い視野で進路や職業選択を進めるため、中高生向けには実験や学内の見学を行い、保護者向けには当該分野で働く女性のロールモデルを紹介するトークイベントを実施した。

効果：全ての学生、保護者が、イベント参加により新たな気付きや動機付けがされたという前向きな意識変化があった。

イベントの内容

○中高生向けプログラム

内容：岩手大学理工学部工学ガールズの案内により研究室（4分野）の見学と実験の見学

○保護者向けプログラム

内容：理工学部OGによる理系の職種で働く女性のトークセッション

（司会）キャリアコンサルタント 三角 香氏

（ロールモデル）岩手県立久慈東高等学校教員 佐藤 愛里沙氏（旧 マテリアル工学科卒）

株式会社大東環境科学職員 後藤 由望氏（旧 応用化学科卒）

盛岡市建設部用地課技師 淡路 野乃氏（社会基盤・環境コース卒）

テーマ：理系に進みたいと思ったきっかけ、理系に進学するときの親の反応、学生時代理数科目が得意だったか、女性が少ない環境で勉強したり、働いたりする上で困ったことなど

〈参加者の感想〉

- ・（子）自分の興味のあるコース以外のお話を聞いて選択肢が増えた。
- ・（子）実際の大学生から声を聴ける機会は少ないので、大学内の状況を知れるのは新鮮だった。
- ・（親）高校1年生の文理コース選択が12月でしたので、もう少し早い時期に聞きたい話がたくさんありました。
- ・（親）中学生の娘が理系に対しての苦手意識がありましたが、子どもがやりたい事、興味のある事を大事にしながら、進路選択を応援したいと思いました。

◇主催 盛岡市（市民部市民協働推進課男女共同参画推進室）

◇共催 国立大学法人岩手大学理工学部

◇後援 盛岡市教育委員会



学内・研究室見学



トークセッション